

クローバー



災害対策について真剣に聞き入る職員



模擬患者へのトリアージ訓練の様子



木内院長による講評の様子



模擬患者を前にして

災害が起きた時、職員は患者様にどのように対応するのか。有事の際にしっかりと対応するためには、普段から訓練をして備えておくことが必要です。

当院では防災活動も含め、様々な訓練を行っています。去る九月十七日には、毎年行っている夜間の火災を想定した院外（自宅外出先）からの非常招集訓練を行いました。夜七時に緊急電話連絡網で全職員に呼び出しをかけます。「病院にて火災発生。至急病院待合ホールに集合してください。」この連絡を受けて、帰宅していた職員や院内にいた職員が次々に集まり、本部に到着の報告を行います。集合後、災害発生時の対応についてのビデオを上映し、集合した二二〇名あまりの職員が災害時の対応について学習しました。

ビデオを見た後は、実際に職員が扮した模擬患者を前に、「トリアージ」（災害時において効率的な診療をおこなうための優先順位の決定）の判断基準、判断の方法について学びました。「トリアージ」の必要性、実際の方法についての基本的な部分を学ぶことができ、有意義な訓練となりました。今後も万が一の災害に備えて様々な訓練、防災活動に取り組んでいきたいと考えています。

こうした訓練の際は患者様や来院された皆様にご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



本紙「クローバー」では、前々号(17号)で東2階病棟の改修について、また前号(18号)では各病棟の特別室、個室及び二人室のリニューアルについてお伝えしました。今回は東3階病棟の改修工事が完了しましたのでその一部をご紹介します。

工事期間中はいろいろとご不便、ご迷惑をおかけしましたことをお詫びしますと共に、皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

当院では、より快適に入院生活を過ごしていただくため、これからもより良い入院環境の提供ができるよう努力してまいります。

東3階病棟の改修工事完了!



広々とした洗面コーナー。広く明るくなりました。



洗面コーナーにある洗髪台(右)。寝台に横になったまま利用することもできます。



シャワー室も出来ました。

広々とした身障者用トイレ室。車椅子のまま入室できます。



『外来待ち時間調査を行いました。』

去る9月10日(水)、午前中の外来を受診された患者様を対象に、待ち時間調査を実施しました。

これは、当委員会にてこれまで実施させていただいた患者様満足度調査及びご意見箱への投書等により、待ち時間についての要望が大変多いことが分かり、詳細な実態や原因を把握し、改善を図るため実施したものです。調査の際はみなさまにご協力をいただきありがとうございました。

現在、調査結果について、集計・分析中ですが、おおよその平均待ち時間で、予約診察については、27分、予約外診察(新患と予約外再診をあわせて)については、54分という結果になりました。やはり、予約診察の方が、お待ちいただくことなく受診いただいているようです。

今後、更に結果を分析すると共に、全科予約診察の導入を推進するなど、待ち時間短縮への対策を進め、よりスムーズに診察を受けていただけるよう努めたいと考えております。

医療サービス向上委員会

肺炎球菌ワクチン 接種についてのお知らせ

肺炎球菌ワクチンとは、肺炎球菌によって引き起こされるいろいろな病気(感染症)を予防するためのワクチンです。この肺炎球菌は、体力が落ちている時や高齢になって免疫力が弱くなってくると病気を引き起こします。

肺炎球菌が引き起こす主な病気としては、肺炎、気管支炎などの呼吸器感染症や副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎などがあります。

ワクチンの接種後は、免疫ができるまで平均1ヶ月程度かかり、通常、1回の接種で約5年間ほどその免疫は持続すると言われています。ただし、過去にこのワクチンを受けたことのある人は、2度目の接種はできません。

高齢者、心臓や呼吸器に慢性疾患のある方、腎不全、肝機能障害、糖尿病のある方などは、肺炎などの感染症にかかりやすく、その症状も重くなる傾向がありますので、肺炎球菌ワクチンの接種をおすすめいたします。このワクチンの接種は当院で行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

●実施日 平日 月～金(事前予約が必要です。下記までご連絡ください。) ●料 金 8,160円(税込)
予約・問い合わせ先 北村山公立病院医事課 42-2111 内線)2204

医療事故の公表と医療の安全性向上への取り組みについて

当院では、患者様本位の良質な医療を提供し、病院運営の透明性を高め、地域住民の皆様の医療に対する信頼と医療の安全の確保を目的として、平成18年4月に医療事故公表基準を設定しました。公表は、過失のある医療事故でレベル3以上のものとしており、(右記の図参照)レベル3については年に1回程度包括的に公表し、レベル4以上についてはその都度、個別に公表いたします。

この公表基準に基づき、平成19年度に発生した医療事故3件について以下のとおり公表いたします(3件ともレベル3に該当)。

- 70代の女性の大腸ファイバースコピー検査時に腸に穴をあけた。
- 70代の女性をエレベーターバスにて入浴介助中、転落し頭部打撲及び右眼瞼部を裂創した。
- 50代の男性の大腸ファイバースコピー検査中に腸に穴をあけた。

いずれの件もその後の治療により、治癒、回復しています。

当院では、こうした医療事故を防止するため、また、より良質で安全な医療の提供へ向けて、医療安全管理対策室(室長・大塚副院長、医療安全管理者・太田看護師長)を中心に活動しています。

医療安全活動の中で、特に力を入れて取り組んでいるものの一つに、全職員を対象とした医療安全研修があります。今年度はこれまで7月と8月に研修会を開催しています。今回はこの研修会についてご紹介します。7月は医薬品の中でも取り扱いに注意を要するインスリン製剤についての研修会を実施しました。糖尿病治療について専門的な取り組みを行っている医療機関の先生方をお招きし、専門性の高い研修会となりました。この研修会には、当院の職員だけでなく、北村山地区薬剤師会の薬剤師の方からも参加いただき、地域の薬剤師の皆様との連携・協力にも大いに役立ちました。また、8月には、当院で来年度導入を予定している電子カルテの導入の効果と注意点について、既に導入し実績を上げている医療機関の方をお招きし、研修会を実施しました。電子カルテ導入後の効果、業務の変化や職員が注意すべき点が明確になり、有意義な研修会になりました。

もちろん研修を行うことだけで全ての医療事故が防げるわけではありません。医療事故を防ぐためには、職員一人一人が医療安全への意識を高く持ち、危険予知能力を身につける事が必要になります。また、職場環境の整備や、各部門間との連携といった点も重要です。病院の組織が一体となり、さらに患者様の協力も得ることで、盤石な医療安全体制が構築されと考えています。

当院では「地域の信頼にこたえるため、患者様中心のよりよい医療の提供に努めます。」を理念に掲げております。今後も医療安全管理対策室を中心に、事例報告、対策検討や研修会を通じて、当院の理念である患者様中心のよりよい医療の提供の一翼を担えるような医療安全活動を継続してまいります。

	区 分	内 容
インシデント	レベル0	間違ったことが発生したが、患者様には実施されなかった場合。
	レベル1	間違ったことを実施したが、患者様には変化が生じなかった場合。
アクシデント	レベル2	事故により、患者様に何らかの影響を与えた可能性があり、観察の強化や検査の必要性が生じた場合。
	レベル3	事故により、治療・処置が必要となった場合。 事故により、軽・中程度の後遺症が残った場合。
	レベル4	事故により、深刻な病状の悪化をもたらした場合。 事故により、高度の後遺症が残った場合。
	レベル5	事故により、死亡した場合。



研修会の様子



医療安全管理対策室の大塚室長(左)と佐伯診療部長

外来診療科医師日程表

平成20年10月15日現在

内 月	科 火	水	木	金
※ 鎌田芳則	北村光信	鎌田芳則	※日本医科大学医師 又は佐伯和則	※北村光信
森澤太一郎	※佐伯和則	※森澤太一郎	北村光信 (第1・3・5)	佐伯和則
			森澤太一郎 (第2・4)	鎌田芳則

◎※印は新患外来の担当医師

◎毎月最終診療日 午後2時より禁煙外来（予約制）

神 経 内 科	月	火	水	木	金
水越元気	野本達也	野本又は水越	野本達也	野本又は水越	
中嶋信人	水越元気		中嶋信人		

消 化 器 科	月	火	水	木	金
高橋 光	福岡 猛	福岡 猛	高橋 光	福岡 猛	

小 児 科	月	火	水	木	金
鹿子島俊夫	鹿子島俊夫	鹿子島俊夫	鹿子島俊夫	鹿子島俊夫	鹿子島俊夫
午後 鹿子島俊夫	午後 鹿子島俊夫	午後 鹿子島俊夫	午後 鹿子島俊夫	午後 鹿子島俊夫	午後 鹿子島俊夫

◎月～金曜日午後外来診察（午後2時30分～4時受付）

外 科	月	火	水	木	金
山本一仁	木内博之	山本一仁	木内博之	山本一仁	
二見良平	柏原 元	柏原 元	二見良平	二見良平	
寺西宣央	寺西宣央	塙 秀暁	柏原 元	塙 秀暁	

整 形 外 科	月	火	水	木	金
北村繁行	須藤悦宏	北村繁行	須藤悦宏	北村繁行	
林 央介	林 央介	林 央介	林 央介	須藤悦宏	

形 成 外 科	月	火	水	木	金
梅澤裕己	梅澤裕己	梅澤裕己	梅澤裕己	梅澤裕己	梅澤裕己

※外来の受付時間は午前7時30分～午前11時30分まで、診察は8時30分開始です。土・日・祝日・年末年始は休診です。ただし、急患は随時受付・診察を行います。

※都合により担当医師の変更や休診になる場合があります。

皮 膚 科	月	火	水	木	金
日本医科大学医師					

◎毎週月曜日のみ診療（月曜日が休日の場合は火曜日）

◎午前は10時より、午後は2時より診療開始

脳 神 経 外 科	月	火	水	木	金
鎌塚栄一郎	鎌塚栄一郎	國本健太	鎌塚栄一郎	國本健太	
		午後 國本健太			

◎水曜日は午後2時30分より予約外来

◎火曜日は午前9時30分より診療開始

泌 尿 器 科	月	火	水	木	金
塩路 豪		高橋 亮	塩路 豪	高橋 亮	

◎火曜日は手術日のため外来診療は休診

産 婦 人 科	月	火	水	木	金
大塚 茂	大塚 茂	大塚 茂	大塚 茂	大塚 茂	大塚 茂

眼 科	月	火	水	木	金
山下 博	山下 博	山下 博	山下 博	山下 博	山下 博

耳 鼻 い ん こ う 科	月	火	水	木	金
齋藤明彦	齋藤明彦	齋藤明彦	齋藤明彦	齋藤明彦	齋藤明彦
	午後 齋藤明彦				午後 齋藤明彦

◎火曜日・金曜日午後外来診察（午後3時～4時30分受付）

リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	月	火	水	木	金
木内博之	知識鉄郎	須藤悦宏	知識鉄郎	木内博之	

麻 酔 科	月	火	水	木	金
篁 武郎	※篁 武郎	篁 武郎	篁 武郎	篁 武郎	篁 武郎

◎午前9時30分より診療開始 ※火曜日は予約診療のみ

放 射 線 科	月	火	水	木	金
		日本医科大学医師			

「産科医療補償制度」のお知らせ

「産科医療補償制度」は、平成21年1月1日以降の分娩に関連して発症した重度脳性麻痺の赤ちゃんとそのご家族のことを考えて設立された新しい補償制度です。当院も分娩を取り扱う医療機関として、この補償制度に加入いたしましたのでお知らせいたします。

10月より、妊産婦の皆様はこの制度の対象者となることを示す「登録証」を順次交付いたします。その際、妊産婦の皆様には必要事項について記載をお願いすることになりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

ご不明な点やこの制度の詳細については下記までお問い合わせください。

■問合せ先 北村山公立病院 医事課 ☎2-2111 内線2104



外科外来スタッフ

いきいき 職場紹介 18

外科外来

当院の外科外来は、消化器の良、悪性疾患と乳腺疾患に対して、診療治療を行っている外来です。虫垂炎ヘルニア（脱腸）から、各種癌まで幅広く診断、治療に携わっています。外来スタッフは、医師六名、看護師三名、窓口事務一名で、毎日三診での診察を行い、できる限り待ち時間が少なくなるよう努めています。

ただいている状態です。御理解をお願い致します。今後も患者様が安心して、診療が受けられるように、スタッフ一同連携を図り、精一杯頑張っております。癌は日本人の死因の第一位で、そのほぼ半数が消化器癌です。長年「胃癌」が最多でしたが、現在では欧米型の食生活の影響を受け、大腸癌が増加するばかりです。

胃癌も大腸癌も早期発見で治療した場合、高い確率で治る病気です。治療技術の進歩により、早期癌の治療では、開腹せずに内視鏡的切除や腹腔鏡下手術にて、より治療後の負担が少ない治療が可能となりました。苦痛を伴うことがある胃カメラでは、さらに細い管となった経鼻内視鏡の導入にて、楽に検査を受けられるようになりました。大腸カメラでは、なるべく苦痛のないように、鎮静剤を使用し検査を行っています。

乳癌も年々増加傾向にあります。早期発見し治療を受ければ、ほぼ完全に治る病気です。月一回の自己検診、三十才を過ぎたら年一回の定期検診を受けましょう。当院でもマンモグラフィ、エコー、MRI検査など行っていますので、御相談下さい。常に患者様の言葉に耳を傾け、医師に自分の考えや思いを表出できるような雰囲気作りが、患者様と医師とのパイプ役になれるよう、努力していきたいと思っております。

外科外来 石川 さよ子

診察室 24

鼻血の原因と対処法

耳鼻いんこう科 齋藤明彦



鼻血は、鼻の粘膜や血管が傷つくことによって起こる出血です。

突然、大量に出血すると驚いてしまうかと思いますが、多くの場合は、適切に対処して、血が止まれば特に心配はいりません。左右の鼻の穴を隔てている壁を「鼻中隔」といい、「鼻中隔」の前方の所を「キーンゼルバツハ部位」といいます。鼻血の九〇％近くが、ここからの出血です。この部分は粘膜が薄く、細い血管が集中して網目状に走っているため、わずかな傷や刺激で容易に出血してしまいます。

多くは鼻をほじったり、鼻をかんだ、くしゃみをしたなどで、ここの粘膜や血管に傷がついて出血します。特に子どもさんの場合、一度傷ができるとそこがかさぶたになり、つい気になっていじってまた出血する、といったくり返しを起すこともあります。風邪をひいている時やアレルギー性鼻炎の方は、鼻をかんだり、

くしゃみをする回数が多くなってしまうため、鼻を傷つけやすくなります。成人の場合は高血圧などの全身疾患も影響します。

鼻血が出た時の対処法ですが、上半身は起こしてややうつむいた姿勢をとります。横になったり、上を向くのは鼻の奥から口に鼻血が流れ込むだけになってしまうので避けて下さい。そして鼻翼（小鼻）を両側から強くつまみ、一〇〜十五分間圧迫します。ほとんどの場合はこれだけで血は止まります。出血が多い場合は、圧迫を行いながら脱脂綿を出血側の鼻の穴に詰めます。ティッシュを詰めるのは、応急的に何もなければやむを得ませんが、あまり好ましくありません。止血した部分にティッシュの紙片がはりついてティッシュを抜く際に、止血のため形成されたかさぶたと一緒にがれて再出血してしまうことがあります。首の後ろをたたくというのは根拠はなくおすすめできません。

血が止まった後のご家庭での注意点としては入浴、運動、過労、アルコールの摂取などは一時的に血圧があがり再出血の要因となりますので、控えて下さい。また、子どもさんの場合、鼻のいじりすぎが一番の原因ですので、できるだけ注意してあげてください。

このような処置をしてもなかなか出血が止まらない場合は耳鼻いんこう科で診察を受けて下さい。

知ってる？

■身近な放射線■

日常、人の五感によって感じられるものの量や様子は、実感で理解できますが、五感で感じ取れないもの、とりわけ目に見えないものとはとても不安に感じるものです。みなさんの中にはレントゲン検査を受けられる際、不安に感じる方もいるのではないのでしょうか。私たちの国日本は唯一の被ばく国であり、どうしても放射線に対しての不安や恐怖を感じてしまいます。被ばくという言葉は聞いただけでなにやら物騒な感じがしますね。ですが、被ばくとは、放射線を受けること全般を言うのであって、検査で使う放射線は、より少ないものにしてあります。数回程度の検査を連続で受けられることでの被ばくでも問題ないといつて良いでしょう。また、日常生活のなかでも、知らず知らず微量ではありますが被ばくしているということを知っていますか？自然放射線と呼ばれるものです。地球上のすべての生物は、地球自身が放つ放射線や遠い宇宙から飛来する放射線にさらされ、食物摂取や呼吸などによっても影響を受けています。被ばくによつてがんになる確率が高くなることは知られてい

ますが、いったいどれだけの量が危険なのかと心配になります。一般的にがんの発生率は一度に二〇〇ミリシーベルト（被ばくの単位）以上あると線量増加にともない増大するとされています。また、検査では、放射線は検査する部分だけにかかり、細胞が傷ついても修復機能があるため蓄積されることはありません。自然放射線と検査における、おおよその被ばくの値は次のとおりです。

★年間自然界から受ける線量

（世界平均）

約二・四ミリシーベルト

宇宙線から

〇・三八ミリシーベルト

大地から

〇・四六ミリシーベルト

呼吸から

一・三ミリシーベルト

体内から

〇・二四ミリシーベルト

★胸部レントゲン検査（一回あたり）

〇・四ミリシーベルト

★胃の検診（一回あたり）

〇・六〜四ミリシーベルト

★CT検査

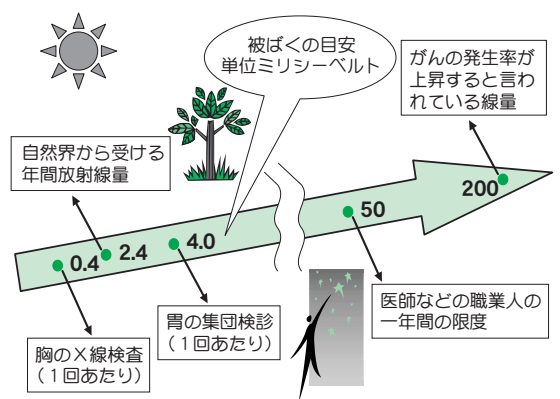
二・四〜一〇ミリシーベルト

★核医学（R-）検査

〇・二〜八ミリシーベルト

★MRI検査

放射線を使用しないので被ばくはありません。



この様に普段検査で使用している放射線は、先ほど紹介した被ばくの量に比べて、かなり少なくなっていますので心配しないでください。また、自然界から受ける被ばくが意外に多いことにびっくりしますね。私たちは、実は放射線と身近な関係にあり、その中で生活しています。また、胎児や子供への被ばくについて不安に感じている方も多いのではないのでしょうか。被ばくによる奇形、発育遅滞、不妊などは通常の検査では起こりません。一度に一〇〇ミリシーベルト以上の被ばくで影響が出るのが分かっています。目に見えないものでも、知っていることで不安や恐怖を少しでも解消していただき、検査をより安心して受けていただきたいと思います。

中央放射線室 瀬野 透

新任医師紹介

- ①着任日
- ②趣味
- ③抱負・自由発言
- ④出身地
- ⑤専門医等

◆泌尿器科

塩路 豪



①七月一日
②将棋・野球応援・ゴルフ ③よろしくお願いします。
④東京 ⑤日本泌尿器科学会専門医・指導医

◆外科

寺西 宣央



①七月一日
②スポーツ・食べる事 ③山形では二度目の勤務をさせていただきます。よろしく願いいたします。
④東京 ⑤消化器外科

編集後記

山形の秋の風物詩といえば芋煮会ですね。みなさんは芋煮会の歴史を知っていますか？昔、最上川舟運の盛んだった頃、物資を運ぶための舟の中継地点で、当時はうまく連絡がとれず、船頭達は舟に寝泊まりして何日も物資を運んでくる人々を待ったそうです。

舟付場のすぐ近くに里芋の名産地があったため、そこから里芋を買い、舟に積んだ棒だらなどの干物と一緒に煮て飲み食いしながら待ち時間を過ごしたのが芋煮会の始まりだといわれています。今とは具材は違いますが、当時の人達も季節を楽しんだことでしょう。（薬剤科 平）